



ounomai

王の舞

三つの王の舞

その年の豊饒を祈る行事で、美浜町では、彌美神社(宮代)、織田神社(佐田)、宇波西神社(気山)の3つの神社で奉納されています。真つ赤な装束に鼻高の面、鉾を身に付けた舞い手が、笛や太鼓の囃子で優雅に舞います。

宇波西神社

宇波西神社の例大祭は毎年4月8日に行われます。この例大祭は国の選択無形民族文化財に指定されていて、王の舞の装束は朱色で金糸の柄入り、頭には鳥兜、天狗の面はやや茶色っぽく、鼻はごつごつして先がとがっています。



彌美神社

彌美神社の例大祭は毎年5月1日に行われ、王の舞は福井県の無形民族文化財に指定されています。王の舞の装束の色は鮮やかな赤、頭には鳳凰の鳥兜、天狗の面は深い赤で、鼻は円柱形ですっとしています。

大御幣を押し立てて本殿に押し上げようとする上げ番と阻止しようとする下げ番が、参道を往來する「幣押し」



王の舞に続いて行われる「ソッソ」。袴を着用した3名の男性が扇を広げて「ソー」、「ソニー」、「ソォー」と叫び、観衆のヤジなどで笑いに包まれます。

織田神社

織田神社の例大祭は毎年5月11日。織田神社のみ王の舞が屋内で行われます。金襴緞子の衣装に鳥兜、面は濃い朱色で、反り返った鼻が特徴的な天狗が「でんでんでん」の掛け声で床を強く踏みつけ、舞いを披露します。



hayase kodomokabuki

早瀬子供歌舞伎

150年以上続く伝統行事。区内で流行したコレラを鎮めるために奉納したのが始まりとされています。化粧を施し色鮮やかな衣装をまとった子ども役者が、山車の上で歌舞伎を行います。凛とした表情で力強く見栄を切る姿が見ものです。



hiruga suichu-tsunahiki

日向水中綱引き

その年の大漁を願い、運河の両岸に結ばれた綱をどちらが早く引きちぎるかを競う神事。極寒の中、運河にかかる橋から次々に飛び込み、威勢の良い掛け声とともに大綱を引っ張る、美浜の熱い男達に注目です。



日向湖と若狭湾をつなぐ運河に現れた大蛇を追い払うため、大きい綱をつくり運河に張っておいたという伝説が、水中綱引きの由来として今も語りつがれています



みんな で 創り、絆ぎ、集う 美し美浜

本町では、平成28年度から平成37年度までの10年間に町の特性に応じた魅力あるまちづくりを着実に進めていくための指針として、このほど「みんなで作る絆ぎ集う美し美浜」を将来像とする「第五次美浜町総合振興計画」を策定しました。これまでの第四次総合振興計画では、「ひと」が主役、「まち」に活力、「くらし」にうるおいを基本理念としてまちづくりを進めてきました。これからのまちづくりでは、第四次の基本理念を継承しながら、主役である「ひと」が活躍し、「ひと」がつながることによって、地域がつながり、「絆」が深まります。そして、「ひと」が集うことで、交流・活動の輪が広がります。第五次総合振興計画は、町民の皆様一人ひとりが、まちづくりの主役として活躍し、ひとや地域の絆を深めつつ、交流や活動の輪を広げていくための行動指針でもあり、「住民との協働」によるまちづくりを進めます。



未来をひらき、人と文化を育むまち

住民が様々な機会を通じて、まちづくりの根幹となる地域や次代を担う人材の育成を進め、豊かな人間性と社会性、郷土への誇りと愛着心を育み、未来をひらく人・まちづくりを目指します。



なびあすホール

約500席の固定席があり、式典やコンサート、演芸、演劇等、あらゆるジャンルの催しに対応しています。天井や壁面の音響反射板は、まるで魚のうろこのようにダイナミックです。

生涯学習の起点

「生涯学習センター なびあす」

「多種多様な町民ニーズに対応した新しい時代にふさわしい学習環境づくり」をコンセプトにした生涯学習の拠点施設です。公民館機能と図書館機能、文化ホール(劇場)が一体化した施設になっています。展覧会や講演会等、多機能に使える「コミュニティルーム」、調理や工作等の活動に対応した「趣味の部屋」、防音・防振機能を備えた「スタジオ」など、多様なニーズに応えます。



畑 はるかさん
瑛友(あきと)くん

居心地が良くて
つい長居し
ちゃいます



なびとしょ

幅広い分野の蔵書と最新の図書情報システム。やさしい光と木の温もりが包み込む居心地の良い滞在型の図書館です。AVコーナーやブラウジング(新聞・雑誌)コーナーも充実しています。

月に一度、未就学児を対象に、絵本の読み聞かせイベント「よちよちおはなし0・1・2」などを開催しています

世界に誇れる
施設が気軽に
借りられます!

金吾 京子(みやこ)さん
陽介くん



幻のピアノ

「FAZIOLI(ファツィオリ)」

幻のピアノと呼ばれるイタリアのファツィオリ社製F308を日本国内のホールで初めて導入しました。世界最高水準で奥行きが3mを超える最大級のコンサートグランドピアノです。重厚な音量とクリアな音色を体感できます。大迫力のパワーと長くなった低音域の弦から生まれる倍音は、全世界から称賛を得ています。



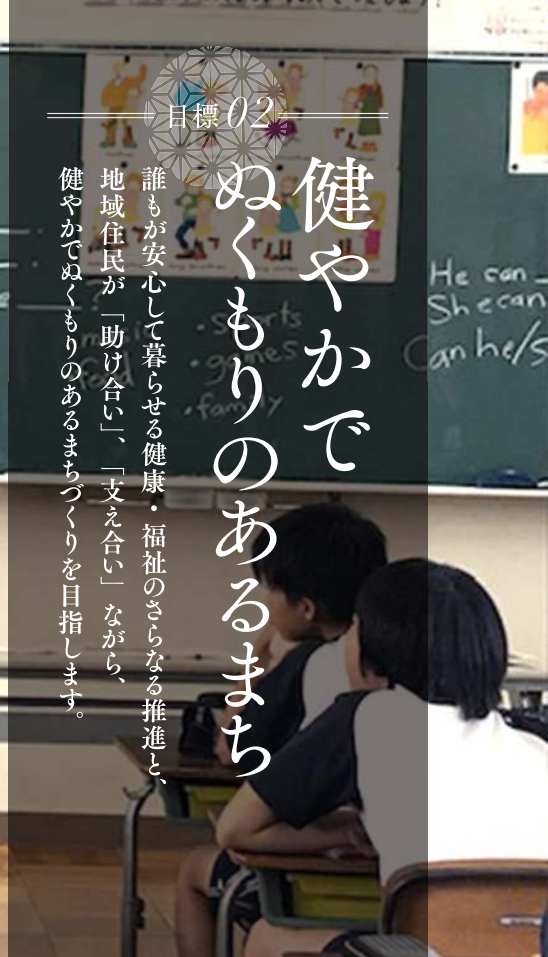
若狭国吉城歴史資料館

戦国時代の山城である国吉城址と、その城下町として造られた佐柿の歴史的な町並みを紹介する資料館です。



美浜町歴史文化館

町の歴史文化に関する資料の保存と、資料を展示し一般公開することを目的とした施設です。



目標 02

健康やかで ぬくもりのあるまち

誰もが安心して暮らせる健康・福祉のさらなる推進と、地域住民が「助け合い」、「支え合い」ながら、健康やかでぬくもりのあるまちづくりを目指します。

小学校英語活動推進事業

児童の英語教育を強化するため、AIT(外国語指導助手)を小学校に配置しています。

子ども・子育てサポートセンター (美浜町保健福祉センター「はあとびあ」)

妊娠期から子育て期にわたって切れ目のない包括的な子育て支援を継続的に提供しているほか、子どもや家庭を取り巻く課題に総合的に取り組み、地域の子育て機能の充実を図っています。



美浜町保健福祉センター 「はあとびあ」

健康福祉サービスを提供する拠点として、要介護者と健常者が交流し、相互扶助の精神を育む場として活用されています。

「保育園」

充実した環境で、子どもたちがのびのびと毎日楽しく過ごしています。健康増進と心の成長を促進し、人との関わりの中で、自己を表現し相手を思う気持ちを養っています。



美浜町福祉支援センター「あいぱる」

発達障害の子どもや気がかりな子どもへの発達支援、また、障がいのある人への生活支援を行う、町の障害福祉サービスの拠点です。



健康体操教室

高齢者支援センター(美浜町福祉課内)

高齢者のひとり暮らし、物忘れや病弱な方々とそのご家族の相談をうかがい、関係機関と連絡を取り、住み慣れた我が家で安心して暮らせるように応援します。

活気と、にぎわいのあるまち

地域の特性を活かし、農林水産業や観光・商工業をはじめ様々な分野が連携を深めながら、活気とにぎわいのあるまちづくりを目指します。

観光

素朴で飾らないおもてなし 谷口 篤美さん

平成20年にオープンした観光拠点「五湖の駅」の代表を務める谷口さん。自らが生産者の元へ出向き、仕入れを行う地元の特産品や土産物の販売。さらに、地元食材を使用した食事を楽しめるなど、休日には300人を超えるお客さんが訪れる人気スポットとなっています。素朴で心の通った接客が人気の秘密と語る谷口さん。「美浜は女性が元気。五湖の駅でも10名の女性スタッフが、親戚のおばちゃんの家に来たような、アットホームなおもてなしを心がけています」。



農業

地域農業の若きリーダー 大野 克弥さん

町内でも有数の経営規模を誇る農家の大野さん。約37haの広大な田んぼを経営する農業法人の代表であり、また青年農業者クラブにおいても中心的な立場で、地域農業のリーダーとして活躍しています。「ふるさとの豊かな自然の中で、大きな責任とやりがい、そして農業に対する誇りを持って日々尽力しています」。



商工業

新エネルギーとともに歩む
わかさ東商工会会長 国川 清さん

現在、わかさ東商工会会長で美浜支所の代表を務める国川さん。「美浜町の小売業は、古き良き心が通うおもてなしが今も残ります。また、建設業は新エネルギー産業である原子力発電所の維持・管理のため高い技術力を日々磨き、長年蓄積された経験を活かしてこれからも尽力していきます」と語ってくれました。



水産業

日向の海を愛する漁師 宮下 力志さん

豪快で荒々しい男たちの伝統行事「水中綱引き」の季節になると血が騒ぐ生粋の日向人。当時の日向漁業組合が行った「新規漁業者開拓」事業をきっかけに40歳を超えて漁師となった宮下さん。「地元の海が好き、という気持ちを抑えきれず転職を決意しました。20キロを超えるブリが獲れたときなど、他の仕事では味わえない充実感を感じます。歳の差など関係のない漁師の世界で、20代から年上まで、漁協の「仲間」として和気あいあい酒を酌み交わすのが何よりも楽しいですね」。



豊かな自然環境と心安らぐまち

豊かな自然環境の保全・活用と、環境負荷の低い持続可能な循環型社会の実現に努め、誰もが心安らぐまちづくりを目指します。

久々子湖畔でバードウォッチング

三方五湖のひとつ、久々子湖の豊かな自然を体感してもらおうと、美浜環境パートナーシップ会議や美浜町生涯学習まちづくり委員会等が開催しています。



三方五湖一斉清掃

三方五湖保全対策協議会が毎年主催。三方五湖の環境と景観を守るため、ボランティアの方々300人以上が参加し、湖の周りを清掃します。



川のいきもの観察探検隊

町内の小川で、4歳児から小学生を対象に夏に行われているイベント。川のいきもの観察を通して身近な自然に興味をもつとともに、自然と触れ合い、自然や環境に対する意識を高めています。

美浜環境パートナーシップ会議「自然と遊び学ぶグループ」が主催して行っています



快適で 安全安心なまち

様々な災害から住民の生命と財産を守るため、
防災・防犯体制の充実を図るとともに、快適な生活環境を創造し、
安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

舞鶴若狭自動車道

平成26年7月20日、舞鶴若狭自動車道小浜IC～敦賀JCTが開通し、吉川JCT(兵庫県三木市)から敦賀JCT(福井県敦賀市)までの延長約162kmが全線開通となりました。

中国自動車道や名神高速道路、北陸自動車道と一体となって近畿地方・東海地方・北陸地方の広域ネットワークを形成するとともに、若狭地域の観光促進・産業振興、また、災害時の代替ルートとして災害復旧に寄与する等、大きな役割を担っています。



交通安全の取り組み

「交通安全茶屋」では通行するドライバーの皆さんに、交通安全のチラシを配っています。また、小・中学校、保育園では交通指導員による交通安全教室を開催するなど、安全安心なまちを目指した取り組みが行われています。

交通ルールを守って、
安全なまちを

美浜町
交通安全指導員
石丸 清美さん



防災訓練

地震や大雨等、さまざまな災害を想定した防災訓練を実施し、消火器の取り扱いや負傷者の救出、土のう設営等を訓練します。



コミュニティバス

美浜町には、ブルースカイ(丹生線)、ゆうなぎ(日向線)、やまびこ(新庄線)の3つの路線があります。平成27年度からは、運行について予約方式を導入し、維持コストの低減と利用者の利便性向上に努めています。